

教材名 ミニシアター「ぴかっとくん」

〈教材のねらい・使い方〉

- ・明暗を活用して提示することで、注目すべき物が分かりやすくなり、提示物への興味・関心や理解につながりやすい。
- ・コンパクトサイズなので、屋外で実際の天気を確認しながら、カードの選択ができる。
- ・光刺激をとらえることができる児童生徒には、光の強さ等に配慮しながらカラーライトや点滅ライトを当てて、シルエットや光遊びを楽しむことができる。



材料及び作成の工夫等

〈材料〉

- ・内側に黒画用紙又は黒模造紙を貼った菓子箱
- ・黒画用紙に型抜きをした天気マーク
- ・ラミネートの機械とラミネートフィルム
- ・カードをはさむ黒ゴムひも
- ・お花紙

〈製作の工夫〉

- ・カードを簡単に取り替えることができるように、黒ゴムを箱に取り付け、カードをはさむことができるようにした。
- ・お天気カードは、オレンジや水色、白など、天気のイメージに合ったお花紙を一枚挟んでラミネートした。強い日差しにかざすときには、お花紙をラミネートした「色カード」を重ねることで光の強さを調節することができる。

題材名と児童生徒の使用している様子等

〈自立活動 朝の活動・朝の会～天気係～〉

- ① 朝の会が始まる前に天気を感じ取りやすい出窓や屋外に持参し、日差しや雲、雨の有無などを全身で感じ取りながら、カードを選ぶ。教師がミニシアターを提示すると直ぐに注目するようになった。(写真①)
- ② 選んだ天気カードを朝の会で友達に発表するときには、教師が提示すると、声を出して友達に伝えることが増えてきた。(写真②)



〈他の学習場面での活用の実際〉

- ・数種類のお花紙の「色カード」を使った学習→（色集め、色の選択等）
- ・色カードと形を組み合わせた学習→（野菜や果物等の型抜きと色カードを重ねて）
- ・光遊びや読み聞かせ教材として→（ライトと組み合わせた影絵遊びや影絵の紙芝居）

